取扱説明書　保管用

ＬＥＤペンダント

（ライティングダクト専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　　　　　一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

品　名	光　源	適合電圧
PD-2600-N	Power LED3.5W×８　(白色)	AC100V(±6%)
PD-2600-L	Power LED3.5W×８　(電球色)	AC100V(±6%)

※１回路の最大接続台数は３０台（定格１５Ａダクトレールの場合）までです。
お使いのダクトレールの仕様（定格・取付け重量など）をご確認の上、範囲内でご使用ください。

この取扱説明書のマークについて

⚠**警告**　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠**注意**　説明書中の「注意」は、物損および障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は必ず守っていただく事項です。
⃠ このマークのついている説明文は行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

この器具はライティングダクト取付専用です。
ライティングダクトは天井面の丈夫な所に取り付けてください。
傾斜天井・壁面等には取り付けないでください。
★指定以外の取り付けを行なうと、器具落下によるけがの原因となります。

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

ＬＥＤ光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

ダクトプラグの一部が欠けていたり、ヒビが入っている場合には絶対に使用しないでください。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。

エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やＬＥＤ光源寿命低下の原因となります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

⚠注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で８～１０年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度３０℃、年間３０００時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(１００Ｖ)以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。（次項を参照してください。）
★不良点灯や調光器、照明器具の故障または火災の原因となります。

この器具は周囲温度５℃～３５℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、光源寿命短縮の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや、欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

※ 同品名商品のＬＥＤ光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承ください。

※ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。

※ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。

調光器適合表

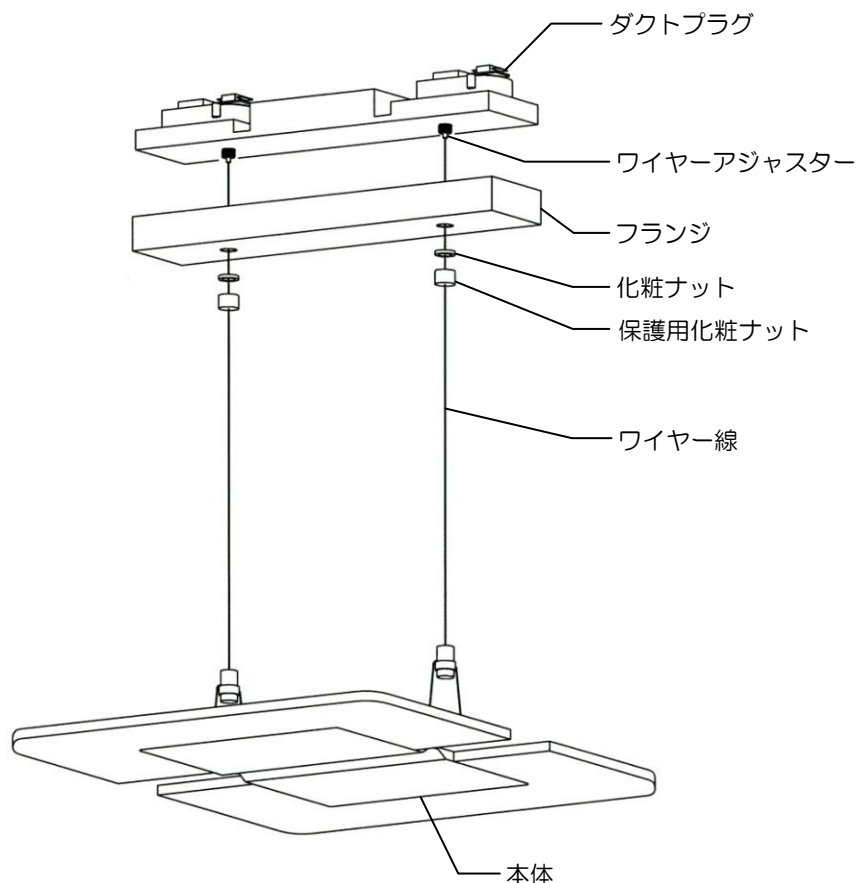
調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。
★不適合な調光器は故障または火災の原因となります。

メーカー名	調光器名所	品番	1回路当たりの接続数	インターフェース※
LUTRON	ホームワークス用マエストロ	HWD-4NE-JA-	1台（調光器1台に対して）	LUT-LBX-JA
			2～11台（調光器1台に対して）	不要
	グラフィックアイ　QS グラフィックアイ　3000	QSG-*O-100- GRX-310*-T-JA-	1台（1ゾーンに対して）	LUT-LBX-JA
			2～17台（1ゾーンに対して）	不要
			18～30台（1ゾーンに対して）	NGRX-PB-JA-WH
	調光盤	JDP-**·GP-4	1台（1回路に対して）	LUT-LBX-JA
			2～30台（1回路に対して）	不要

※インターフェースが必要な場合は1回路に1台を必ず接続してください。
LUT-LBX-JA：低負荷容量インターフェース、NGRX-PB-JA-WH：パワーブースター

★調光器との接続方法につきましては別途ご相談ください。
★電源を入れても点灯しない様に感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をしてください。

各部の名称

（説明図は一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品などがあった場合には、お買い上げ店または、山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【付属品】

取扱説明書（本書）・・・1枚

保証とアフターサービスについて（別紙）・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠警告 ●器具取り付けは、重量の耐えるところに説明書に従い行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災・感電事故の原因となる事があります。

取り付け方

⚠**注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●器具を取り付ける前に
保護用化粧ナット、化粧ナットを緩め、フランジを本体の方へおろします。

1．器具を取り付けます。（図１）

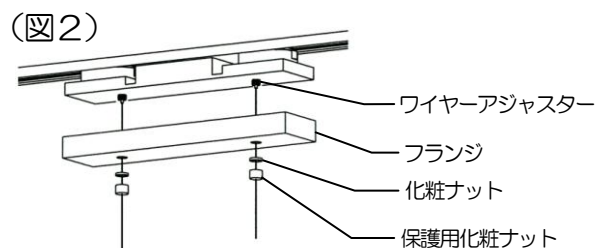
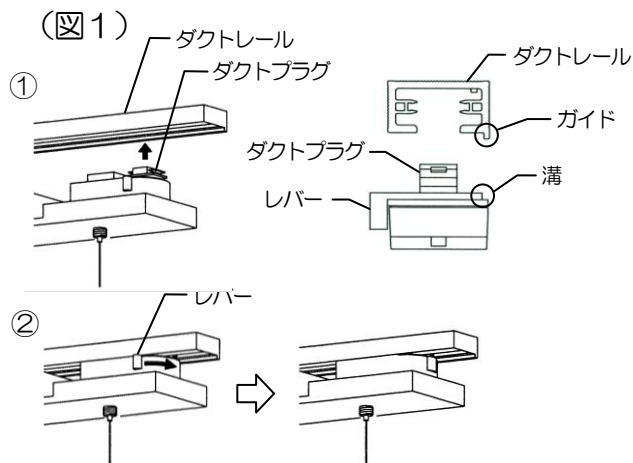
①ダクトプラグの溝をダクトレールのガイドに合わせて
取り付けます。

⚠**注意** ダクトプラグは取り付ける方向が決まっています。
方向を確認して無理に取り付けないでください。
★ダクトプラグ、ダクトレールの破損、器具落下の原因となります。

②レバーを右に９０°回して取り付けます。

⚠**注意** レバーを確実に取り付けてください。
★取り付けが不完全な場合、火災・落下の原因となります。

2．フランジを固定します。（図２）

①フランジの穴をワイヤーアジャスターに合わせてはめ込み、
化粧ナット、保護用化粧ナットを締めフランジを固定します。

吊り下げ高さの調整

⚠**注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●ワイヤーアジャスターを調節してお好みの高さに設定します。
最大高１．１m（出荷時のもの）～最小高０．３mの範囲内で調節できます。
●高さを調整する前に、保護化粧ナットをワイヤーアジャスターからはずしてください。

ーワイヤーアジャスターの調節の仕方ー

短くする場合

●ワイヤーアジャスターの中にワイヤー線をまっすぐに押し込みます。
※ワイヤーアジャスターの先端部を片手で上に押しながらワイヤー線を押し込むと
楽に行なえます。

長くする場合

①ワイヤーアジャスターの先端部を片手で上に押しながらワイヤー線をまっすぐ下へ
引き出します。
②長さが決まったらアジャスター先端部を放します。
（ワイヤー線はそこで固定されます。）
③保護用化粧ナットを取り付けてください。

※調節したワイヤー線の長さに合わせ電源コードの長さを調節します。
●たるんだ分の電源コードはフランジ内部に押し込みます。

スイッチ操作

●壁スイッチにて『ON-OFF』操作を行ないます。

お手入れについて

⚠注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●１年に１回はお手入れを行ない異常がないか点検をしてください。また３年に１回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。
★点検を行なわずに長時間使用し続けますと、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
●こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意 ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
 ●スイッチを切った直後のカバー周囲は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。
 ●光源部分は乱暴に扱わないでください。
★光源部品の故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

◆光源部品の交換

⚠注意 本製品は、構造上お客様にて光源部品を交換する事ができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**（器具本体のラベルでご確認ください。）、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。